

2 修学上の情報

(1) 教員組織、各教員が有する学位及び業績

学長

斎藤 竜夫 (教授)

教授

村木 薫

小川 崇

准教授

永井 裕紀子

福原 英起

稲場 健

新保 憲子

講師

若井 由梨

※教員の学位及び業績は、以下のホームページを参照してください。
([home]>[幼児教育科紹介]>[教員紹介]) <http://www.niigatachuoh-jc.ac.jp/gakka/>

(2) 入学者に関する受入方針、入学者数、収容定員、在学者数、卒業者数、 進学者数、就職者数

①入学者に関する受入方針

- ・保育・教育・福祉に関わる仕事に就くことを希望し、努力できる人
- ・子どもに愛情を持って関わり、子どもを理解しようとする人
- ・自らの考えを持ち、また他者と協働しながら学んでいける人

②収容定員・入学者数・在学者数

入学定員 50 人 収容定員 125 人 (令和 8 年度入学定員 50 人、令和 7 年度入学定員 75 人)

学年	在籍学生数(2026 年 5 月 1 日現在)			収容定員 充 足 率
	1 年次	2 年次	計	
学生数	37 人	30 人	67 人	53.6%
うち社会人学生数	0 人	0 人	0 人	
うち留学生数	0 人	0 人	0 人	
うち海外派遣学生数	0 人	0 人	0 人	

(入学者の推移)

年 度	2026 年度	2025 年度	2024 年度	2023 年度	2022 年度
入 学 者 数	37 人	32 人	40 人	78 人	75 人

(休学、退学・除籍、留年者数：2026 年 5 月 1 日現在)

学 科	休学	退学	除籍	留年
幼児教育科	0 人	2 人	0 人	0 人

※中退者（退学・除籍）は前年度 5 月 2 日以降から当該年度 5 月 1 日までに退学した者。

③卒業生数・学位授与数〔学位：短期大学士（幼児教育学）〕（2026 年 3 月卒） 39 人
（卒業生数と就職状況）

卒業生数 (学位授与数)	求職者数	就職者数					進学者数	その他
		保育園	幼稚園・ 認定こども園	施設関係	一般企業	計		
39 人	35 人	8 人	19 人	7 人	1 人	35 人	2 人	2 人

（就職先）

【保育園】

〔私立〕 松美保育園、希望が丘保育園、つくし保育園、きらきら保育園、加茂新田保育園、水道町保育園

〔公立〕 新発田市、佐渡

【幼稚園・認定こども園】

〔私立〕 満日こども園、ふなえこども園、栄光こども園、あおい幼稚園、松浜こども園、中島幼稚園・わくわく保育園、明幸幼稚園すまいる保育園、長岡和光幼稚園なごみ保育園、こしじこども園、長生保育園、東部川崎保育園、聖公会聖母こども園、松葉幼稚園、小千谷幼稚園、きららにこにここども園、加茂テモテ・ルーテル幼稚園

〔公立〕 妙高市、田上町

【施設関係】

立仏ひまわりクラブ第2、こすど蒼丘の里、守門の里、いからしの里、小栗田の里、まごころ寮、やひこの里

【進学】

新潟経営大学、敬和学園大学

(3) 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画

①シラバス

シラバスは、以下のホームページで公表 ([home]>[大学紹介]>[情報公開])

<http://www.niigatachuoh-jc.ac.jp/about/#tab05>

②2026 年度行事日程

行事日程は、以下のホームページで公表 ([home]>[大学紹介]>[情報公開])

<http://www.niigatachuoh-jc.ac.jp/about/#tab05>

(4) 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準

成績評価

成績は、授業科目の到達目標に対する学生の学修到達度によって評価されます。成績は秀・優・良・可及び不可とし、100 点法により採点し、秀は 90 点以上、優は 80 点以上、良は 70 点以上、可は 60 点以上とし、60 点以上を合格とします。

GPA 制度

学修成果の指標の一つとして、授業科目ごとの成績評価に対してグレードポイント (GP) を付けて履修科目の平均を算出します。GPA は、学生の学修成果の把握、学修指導、奨学金関係等の学修成果を指標とする場面で使用されます。

【成績評価と GP】

評価	評 語		評点 (100 点満点法)	GP
	和文	英文		
秀	秀	S	90 点以上	4
優	優	A	80 点以上 90 点未満	3
良	良	B	70 点以上 80 点未満	2
可	可	C	60 点以上 70 点未満	1
不可	不可	D	60 点未満	0
失格	失	N	修了認定資格を満たしていない (未受験、出席不足) (Not Applicable)	対象外
認定	認	T	本学以外で修得した授業科目又は入学前に修得した 授業科目で本学が認定したもの (Credits transferred)	対象外

※次の授業科目は、GPA の対象科目から除きます。

- ① 所定の手続きにより履修登録を取り消した授業科目
- ② 修了認定資格を満たさない失格評価の授業科目
- ③ 入学前又は他大学で修得した科目を認定した科目 (単位認定科目)
- ④ 履修中の授業科目

【GPA の計算時期】

学期	GPA の種類
1 年次前期	学期 GPA
1 年次後期	累積 GPA
2 年次前期	学期 GPA 及び累積 GPA
2 年次後期	累積 GPA

【GPA 算出方法】

$$\text{学期 GPA} = \frac{\text{秀の単位数} \times 4 + \text{優の単位数} \times 3 + \text{良の単位数} \times 2 + \text{可の単位数} \times 1 + \text{不可の単位数} \times 0}{\text{その学期に評価を受けた科目の単位数の合計}}$$

$$\text{累積 GPA} = \frac{\text{秀の単位数} \times 4 + \text{優の単位数} \times 3 + \text{良の単位数} \times 2 + \text{可の単位数} \times 1 + \text{不可の単位数} \times 0}{\text{在学中に評価を受けた科目の単位数の合計}}$$

※不合格と評価されたのちに再履修によって合格となり単位を修得した授業科目については、再履修によって得た評価と単位数を GPA 算定に算入します。

※GPA の値は小数第 2 位までとします。(小数第 3 位以下切り捨て)

履修登録

履修しようとする授業科目は、履修登録期間中に登録手続きをしなければなりません。履修登録の方法は、ガイダンス等で案内します。

<履修の注意事項>

- ① 授業科目によっては、受講者数を制限することがあります。また、受講者数が著しく少ない等の理由により開講しないこともあります。
- ② 既に単位を修得した授業科目を再び履修することはできません。
- ③ 授業時間が重複する授業科目は、履修登録できません。

履修登録の上限

(1) 1 年間に履修登録できる単位数の上限は 50 単位までです。ただし、次の授業科目は、上限に含めません。

- ① 入学前又は他大学で修得した科目を認定した科目（単位認定科目）
- ② 再履修科目
- ③ 保育士資格を取得するために履修登録する場合は、保育士資格に関する科目
- ④ 教育実習科目
- ⑤ 「表現活動指導法」、「保育・教職実践演習」科目

(2) G P A が次の場合は、履修登録をさらに調整します。

- ① 1 年次後期累積 G P A が 3.00 以上は、2 年次の履修登録単位数の上限は定めません。
- ② 1 年次後期累積 G P A が 1.50 未満は、2 年次の履修登録単位上限数を 4 単位減らします。

試験

授業科目の単位認定を試験によりおこなう場合は、定期試験、臨時試験、追試試験及び再試験により行います。

【定期試験】定期試験は学期末に行います。定期試験の期日及び科目は、試験開始の 2 週間前までに掲示等により発表します。

【臨時試験】臨時試験は担当教員が必要と認めた場合に行います。時期、方法は担当教員から指示します。

【追試試験】受験資格を有する者が、病気等やむを得ない事情で試験を受けることができなかった場合に行います。ただし、実施の判断は授業科目担当教員が行います。

【再 試 験】定期試験等の結果、不合格となり、授業科目担当教員が再度試験を実施すると判断した場合に行います。再試験を受験する場合は、再試験料を納めなければなりません。

再試験料	1 科目	1, 0 0 0 円
------	------	------------

不正行為

授業科目の修了認定にかかる試験等の評価において、不正行為があったときは、その授業科目の評価を無効とします。

成績の通知

学生の学業継続に保護者の理解と支援が不可欠なことから、各学期の成績を保護者宛に郵送します。

成績不振学生に対する対応

成績不振などの状態に陥っている学生に対して、学修意欲の維持、継続や再起を促し、学生の適切な進路支援を行うため、警告又は退学勧告する場合があります。いずれの場合も学年担任により学生及び保護者と面談を行い、必要なアドバイスを行います。

- ① 修業年限（2年）を超えて在籍する場合、2年次後期の累積GPAが2.00未満の場合は、本人及び保護者に文書により警告を行い学年担任により面談を行います。
（ただし、休学期間は修業年限に算入しません。）

- ② 警告を受けた者で、その後に履修した授業科目の累積GPAが1.50未満又は、その年度に履修した授業科目の出席の平均が5割以下の場合は、本人及び保護者に文書により退学勧告を行い、学年担任により面談を行います。

※退学勧告は、本学を退学し新たな進路を選択することを学生に委ねるもので、退学を強要、強制するものではありません。

卒業の認定に当たっての基準

<卒業に要する単位>

区 分	単位数
教 養 科 目	10 単位以上
専門教育科目(必修科目)	50 単位以上
選 択 科 目 (そ の 1)	8 単位以上
合 計	68 単位以上

<卒業及び資格取得に関する単位>

区分 卒業条件	教養科目	専門教育科目			計
		必修科目	選択科目 (その1)	選択科目 (その2)	
保育士資格及び 幼稚園免許状	10	50	21	15	96
保育士資格のみ	10	50	21	—	81
幼稚園免許状のみ	10	50	8	15	83
卒業のみ	10	50	8	—	68

<履修基準>

[教養科目表]

区 分	授業科目	授業形態	年次・単位				幼稚園免許	保育士資格	レクリエーション資格	備 考
			1 年次		2 年次					
			前 期	後 期	前 期	後 期				
教 養 科 目	心 理 学	講	2							教養科目は総計10単位以上選択。 （必修の体育実技、体育講義の2単位を含む。） 今年度開講せず 今年度開講せず * 幼稚園二種免許を希望する者は日本国憲法必修。 今年度開講せず * 幼稚園二種免許・保育士資格を希望する者は、英語会話、中国語会話どちらか1つを必修選択。 ※中国語会話は今年度開講せず
	国 語 表 現 法	講	2							
	コミュニケーション論Ⅰ	講	2							
	コミュニケーション論Ⅱ	講		2						
	音 楽 概 論	講	2							
	日 本 国 憲 法	講				2	◎			
	子どもと人権	講	2							
	自然科学概論	講		2						
	体 育 講 義	講	1				◎	◎		
	体 育 実 技	実	1				◎	◎		
	英 語 会 話	演			2		○	○		
	中 国 語 会 話	演			2		○	○		

[専門教育科目表] 必修科目

区 分	系 列	授 業 科 目	授 業 形 態	年 次 ・ 単 位				幼 稚 園 免 許	保 育 士 資 格	レ ク リ エ ー シ ョ ン 資 格	備 考	
				1 年次		2 年次						
				前 期	後 期	前 期	後 期					
必	保育の本質・ 目的に関する 科目	保 育 原 理	講	2				◎	◎			
		教 育 原 理	講	2				◎	◎			
		子 ど も 家 庭 福 祉	講		2				◎			
		社 会 福 祉	講	2					◎			
		子ども家庭支援論	講	2					◎			
		社会的養護Ⅰ	講	2					◎			
		保 育 者 論	講				2	◎	◎			
修	保育の対象の 理解の関する 科目	保育の心理学Ⅰ （保育の心理学）	講		2			◎	◎			
		子ども家庭支援の心理学	講				2		◎			
		保育の心理学Ⅱ （子どもの理解と援助）	演			1		◎	◎			
		子 ど も の 保 健	講	2					◎			
		子どもの食と栄養Ⅰ	演			1			◎			
		子どもの食と栄養Ⅱ	演				1		◎			
科	保育の内容・ 方法に関する 科目	カリキュラム論	講			2		◎	◎			
		保育内容総論Ⅰ	演	1				◎	◎			
		健 康 指 導 法	演		1			◎	◎			
		人 間 関 係 指 導 法	演		1			◎	◎			
		環 境 指 導 法	演				1	◎	◎			
		言 葉 指 導 法	演	1				◎	◎			
		表 現 指 導 法	演	1				◎	◎			
		音 楽 表 現	演		2			◎	◎			
		ピ ア ノ 表 現 Ⅰ	演		2			◎	◎			
		造 形 表 現 Ⅰ	演		2			◎	◎			
		身 体 表 現 Ⅰ	演			1		◎	◎			
		言 語 表 現	演			1		◎	◎			
		乳 児 保 育 Ⅰ	講	2					◎			
		乳 児 保 育 Ⅱ	演		1				◎			
		子どもの健康と安全	演		1				◎			
		障 害 児 保 育 Ⅰ	演			1			◎			
		障 害 児 保 育 Ⅱ	演				1		◎			
		社会的養護Ⅱ	演		1				◎			
		子 育 て 支 援	演				1		◎			
		目	保育実践演習	保育・教職実践演習	演		3			◎	◎	

				5 0 単位							
--	--	--	--	--------	--	--	--	--	--	--	--

[選択科目 (その1)]

区 分	系 列	授 業 科 目		年次・単位				幼 稚 園 免 許	保 育 園 資 格	レ ク リ エ ー シ ョ ン 資 格	備 考
				1 年次		2 年次					
				授 業 形 態	前 期	後 期	前 期				
選 択 科 目	保育の本質・ 目的に関する 科目	保 育 相 談 の 実 際	演				1		○		今年度開講せず *保育士となる資格取得のためにはこのうち12単位以上を選択必修
		特別支援教育概論	講			2		◎	○		
	保育の対象の 理解に関する 科目	幼児理解と教育相談	演			2		◎	○		
		子どもの保健実習	演			1			○		
	保育の内容・ 方法に関する 科目	保 育 内 容 総 論 Ⅱ	演			1		◎	○		
		乳 児 保 育 Ⅲ	演			1			○		
		表 現 活 動 指 導 法	演		3			◎	○		
		ピ ア ノ 表 現 Ⅱ	演			2			○		
		造 形 表 現 Ⅱ	演				1		○		
		身 体 表 現 Ⅱ	演				1		○		
		レクリエーション 実 習 Ⅰ	演		1				○	◎	
		保 育 実 習	保育実習Ⅰ（施設）	実			2			◎	
	保育実習Ⅰ（保育所）		実		2				◎		
	保育実習指導Ⅰ（施設）		演			1			◎		
	保育実習指導Ⅰ（保育所）		演		1				◎		
	保 育 実 習 Ⅱ		実			2			○		
	保 育 実 習 指 導 Ⅱ		演			1			○		
保 育 実 習 Ⅲ	実				2			○			
保 育 実 習 指 導 Ⅲ	演				1			○			
										*保育士資格 を取得するためには保育実 習Ⅱ・保育実習 指導Ⅱまたは 保育実習Ⅲ・保 育実習指導Ⅲ のどちらかを 選択必修	

ウ 選択科目（その2）

区 分	授 業 科 目		年 次 ・ 単 位				幼 稚 園 免 許	保 育 園 資 格	レ ク リ エ ー シ ョ ン 資 格	備 考
			1 年次		2 年次					
	授 業 形 態	前 期	後 期	前 期	後 期					
選 択 科 目	教 育 と 社 会	講				2	◎			
	教 育 実 習 I	実	2				◎			
	教 育 実 習 II	実			3		◎			
	幼児教育教材研究	演			2		◎			
	コンピューター基礎	演	2				◎			
	子 ど も と 健 康	講	1				◎			
	子どもと人間関係	講				1	◎			
	子 ど も と 環 境	講		1			◎			
	子 ど も と 表 現	講			1		◎			

- (注) 1 ◎ → 必修科目
 ○ → 選択必修科目
 2 (講) → 講義
 (演) → 演習
 (実) → 実習

(5) 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

①学生の修学に関する支援

本学は保育者養成を目的としていることから卒業と資格取得が密接に関連しています。それを支援するために学内に教務委員会、実習委員会、学生厚生員会を設置しています。さらに、事務組織においても教務（専任職員1人）、実習（専任職員1人）を担当する専任職員を配置して教職員が連携してあたっています。2018年度から多様な学生に対応するためのプロジェクトチームを設置して基礎学力の向上等の対策を行っています。

また、各学年に学年担任を2名配置して学生の支援・指導にあたっています。

さらに、2022年度から学生に寄り添い、学生を大切にする大学をめざし、教職員一体となった学生の育成体制の強化としてのチューター制と、学生のリーダーシップ、パートナーシップ育成とコミュニケーション能力の向上を目指したハウス制を導入しています。各組織における主な役割等は次のとおりです。

教務委員会： カリキュラム編成、入学前教育・ガイダンスの実施、試験、入学時の履修相談・履修指導、卒業・資格取得のための履修・成績管理等を担当します。

実習委員会： 保育実習、教育実習の担当者により構成し、実習先の確保、実習指導、実習巡回指導計画の作成等を担当します。なお、実習中の巡回指導は全学体制で実施します。

学生厚生員会： 委員長と学年担任により構成し、学生生活における支援・指導、退学・休学に関する学生と家庭との相談対応、成績不振学生に対する指導等を担当します。

②進路選択に関する支援

本学では卒業者の殆どが保育関連の専門職として就職することから、就職指導及び実習事務を担当する専任職員1人により学生サポート室を設置して進路支援にあたっています。就職指導は、主に就職活動に関する事項、求人及び求職に関する事項、公務員試験・就職試験等の講座に関する事項等を実施しています。実習事務においては、専門職として就職する観点で、実習がインターンシップの要素を含んでいること、実習園も就職先となることから実習指導や情報を共有して就職支援を行っています。

また、一般企業を希望する学生に関しては、同学園の新潟経営大学の就職指導室と連携して情報提供、指導にあたっています。

③心身の健康等に関する支援

ハラスメントに関しては、キャンパス・ハラスメント防止委員会を設置し、ハラスメント相談に関する窓口を教員及び事務職員で担当しています。

健康管理においては、学校医による健康相談を毎月実施しています。また、健康管理増進室（同学園の新潟経営大学と施設を共有）において日常のケアを行っています。

心のケアに関しては、学校カウンセラーを1人配置し、毎週、相談日を設けて対応しています。また、状況や必要に応じて、学校側に担当者を配置してカウンセラーと連携するなどして学生の状況に応じた対応をとっています。

(6) 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

①履修モデル

区 分		1 年次	単 位	2 年次	単 位
教養科目		心理学	2	日本国憲法	2
		国語表現法	2	英語会話	2
		コミュニケーション論Ⅰ	2		
		コミュニケーション論Ⅱ	2		
		体育講義	1		
		体育実技	1		
専門教育科目	必修科目	保育原理	2	保育者論	2
		教育原理	2	子ども家庭支援の心理学	2
		社会福祉	2	保育の心理学Ⅱ（子どもの理解と援助）	1
		こども家庭支援論	2	子どもの食と栄養Ⅰ	1
		社会的養護Ⅰ	2	子どもの食と栄養Ⅱ	1
		保育の心理学Ⅰ（保育の心理学）	2	カリキュラム論	2
		子どもの保健	2	環境指導法	1
		保育内容総論Ⅰ	1	身体表現Ⅰ	1
		健康指導法	1	障害児保育Ⅰ	1
		人間関係指導法	1	障害児保育Ⅱ	1
		言葉指導法	1	子育て支援	1
		表現指導法	1		
		音楽表現	2		
		ピアノ表現Ⅰ	2		
		造形表現Ⅰ	2		
				言語表現	1
		乳児保育Ⅰ	2		
		乳児保育Ⅱ	1		
		子どもの健康と安全	1		
		社会的養護Ⅱ	1		
		保育・教職実践演習(幼稚園)（※1 年次後期から 2 年次通年履修）			3
	選択科目（その 1）	レクリエーション実習Ⅰ	1	保育相談の実際	1
		保育実習Ⅰ（保育所）	2	特別支援教育概論	2
		保育実習指導Ⅰ（保育所）	1	幼児理解と教育相談	2
				子どもの保健実習	1
				保育内容総論Ⅱ	1
				乳児保育Ⅲ	1
				ピアノ表現Ⅱ	2
				造形表現Ⅱ	1
				保育実習Ⅰ（施設）	2
				保育実習指導Ⅰ（施設）	1
				保育実習Ⅱ	2
				保育実習指導Ⅱ	1
		表現活動指導法（※1 年次後期から 2 年次前期履修）			3
	選択科目（その 2）	教育実習Ⅰ	2	教育と社会	2
		コンピュータ基礎	2	教育実習Ⅱ	3
		子どもと健康	1	幼児教育教材研究	2
		子どもと環境	1	子どもと人間関係	1
				子どもと表現	1

※科目の特長は、以下のホームページで公表（[home]>[大学紹介]>[情報公開]>[シラバス]）

<http://www.niigatachuoh-jc.ac.jp/about/#tab05>